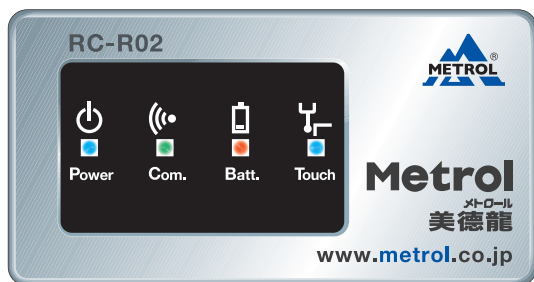


RC シリーズ

取扱説明書



■各国技術適合マーク

Model : RC-K3E Power : 3.6V



R 006-000628

FCC ID:AORMETROLRCS001

The final end product should be labelled in a visible area with the following to reflect the module being used inside the product.

Contains FCC ID: AORMETROLRCS001



CCAM18LP0890T2



CIDF18000262



ESD-1817619C



R-C-me6-RC-K3E

Model : RC-R02 Power : 24V



R 006-000629

FCC ID:AORMETROLRCR001

CCAM18LP0900T5



ESD-1817620C



CIDF18000262



R-C-me6-RC-R02

FCC CAUTION

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modification not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

These devices comply with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and FCC radio Frequency (RF) Exposure Guidelines and have very low levels of RF energy that is deemed to comply without testing of specific absorption rate (SAR)

These devices should be installed and operated with minimum distance 5mm between the radiator & human body.

根據 NCC 低功率電波輻射性電機管理辦法規定：

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

KCC Information

equipment name: 특정소출력무선기기(무선데이터통신시스템용 무선기기)

RF warning statement: 해당 무선설비가 전파통신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

NBTC Information

This telecommunication equipment conforms to the technical standards or requirements of NBTC.

ETA Certificate No : ETA-1007/2017-RLO(SR)

目次

1. ご使用になる前に	
保証に関してのお願い	P1～2
ご使用上の注意	P3
2. 基本仕様	P5～6
3. ソフトウェア仕様	
送信機	P7
受信機	P8
4. 送信機と受信機のマッチング	P9
5. ディップスイッチ（パラメータスイッチ）	
ディップスイッチ（パラメータスイッチ）詳細	P11～13
LED 表示詳細	P14～16
6. 送信機と受信機の送受信可能範囲	P17
7. 受信機の取付け	P19
8. 送信機の取付け	
フィンガの取付け	P21
電池の取付け	P22
ホルダ（シャンク）の取付け	P23
フィンガの芯出し調整	P24
9. メンテナンス	P25
10. トラブルシューティング	P27～28

1. ご使用になる前に

■保証に関してのお願い

当社は品質保証に関して、クレーム、苦情「ゼロ」を願って努力しております。

故障は保証以前の問題として、たとえ1個といえども予防すべきことですが、当社の努力のみでできることはありません。

お客様におかれましては、カタログ、取扱説明書、ホームページ等で対象製品の機能、仕様をご理解いただき、適切にお使い下さいますようお願い申し上げます。

なお、対象製品は主として一般工業向けに設計・製造されております。従いまして、ある確率で一般電気部品類に起こる故障や抜取検査に伴う事故も不可避であることを念頭にフェイルセーフ、誤作動防止、冗長設計等によって、人身事故、火災などの予防のための安全設計にご協力いただきたくお願い申し上げます。

1) 対象製品

以下に規定する保証は当社が製造、販売する製品（以下、「対象製品」）に適用いたします。

2) 保証期間

対象製品の保証期間はご購入後、または貴社のご指定場所に納品後1年3ヶ月とします。

※はじめの3ヶ月は購入から使用までの準備期間を想定しております。

3) 保証範囲

- a. 保証期間内に対象製品に当社の責による故障が発生した場合は、代替品の提供もしくは故障品の修理を無償で実施いたします。

ただし、下記に該当する故障の場合は保証期間であっても、保証対象範囲から除外させていただきます。

(ア) 本カタログ、取扱説明書または仕様書等に記載された規格、定格、環境、使用方法、使用上の注意から逸脱した使用による場合。

(イ) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。

(ウ) 当社以外での改造、または修理による場合。

(エ) 天災や災害など不可抗力に起因する場合。

- b. 保証範囲は対象製品単体の保証に限るもので、対象製品の故障による二次障害は除外させていただきます。

- c. 出張（取付け、立会い、修理など）はご容赦ください。
（製品の価格には出張費は含まれておりません。）

4) 用途について

対象製品は一般工業環境に使用する汎用品として設計・製造されております。

対象製品を装置、機械、システムに組み込み使用する場合、用途の適合性、及び関連する規格、法規、規制を貴社にてご確認ください。

とりわけ下記の用途につきましては、使用条件の詳細などご相談いただき、現品について必要な事前テストをお願いいたします。（テスト品の提供はご相談ください。）

- ① 多量にご採用いただける際に、使用条件、環境が当社の想定外であるか、当社で妥当性を確認ができない用途。
- ② 人命や財産への影響が予想される用途（原子力設備、輸送機器、医療機器など）や公共設備における用途（電気、ガス、水道など）、またこれらに準ずる用途。
- ③ 悪環境（特殊環境：耐熱、真空、磁界など）での用途。

※当社は悪環境の用途で信頼性が良いことを特色と考えていますが、それだけに現状把握が困難な場合があります。その場合事故につながる可能性がありますので、保護構造、素材などをご理解いただき、必要に応じて追加カバーなどをご用意ください。

5) その他

- ・形式、仕様、値段、その他の記載内容について予告なく変更する場合があります。
- ・本書は日本国内での取引、使用を対象としています。
- ・本書作成にあたり細心の注意を払っておりますが、誤記等により発生するいかなる損害の責任を負うものではありません。

1. ご使用になる前に

■ご使用上の注意

1) 電池について

送信機は、 $\frac{1}{2}$ AAサイズのリチウム電池（充電不可）が添付されて販売されます。

使用済みの電池は、各地の環境および安全に関する条例に従って廃棄して下さい。

これらの電池には充電しないで下さい。

電池を交換する際は推奨/適合するタイプの電池であることを確認し、本文書に記載の手順通りに、正しい電極の向きに挿入して下さい。

特定の電池の使用、安全、廃棄に関するガイドラインについては、電池メーカーの取扱説明書を参照して下さい。

- 電池は全て、正しい電極の向きに挿入されていることを確認して下さい。
- 直射日光や雨があたる場所に保管しないで下さい。
- 加熱したり焼却処分しないで下さい。
- 故意に放電させないで下さい。
- ショート(短絡)させないようにして下さい。
- 分解したり、過大な圧力を加えたり、穴を開けたり、変形させたりしないで下さい。
- 飲み込まないで下さい。また、子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 濡らさないで下さい。

2) ガラスウィンドウについて

送信機にはガラスウィンドウがあります。万が一、割れた場合には、怪我をしないよう注意してお取り扱い下さい。

3) 取付作業について

本製品を機能させるために、取り付け作業者の責任において、次のガイドラインを遵守していることを確認して下さい。

- トランスやサーボアンプなど、電気ノイズの発生源からインターフェースを離して配置して下さい。
- すべての OV / アース接続は、機械の集中アース部分に接続してください。
(アースにはすべての機器のアースとシールドケーブルを接続できます。)
これを怠るとアース間で電位差を生じることがあります。
- モーターの電源ケーブルなどの大電流のケーブルや、高速のデータケーブルから本製品のケーブルを離して下さい。
- ケーブル長は、できるだけ短くして下さい。

4) 製品の使用について

本製品を当社が指定する方法以外で使用した場合、本製品の保護性能・機能が低下することがあります。

[illegible]

2. 基本仕様

送信機は、2.4GHz帯のISMバンドを使って、受信機と相互通信を行います。

受信機は、送信機の信号を受け、被加工物との接触信号、電池アラーム信号、通信アラーム信号をデコードし、CNCにケーブルを通して出力します。

RCシリーズは、FCC、CE、TELEC(日本)、SRCC(中国)の電波認証を受けており、また、Rohs、WEEEの認証も合格しています。

2-1 共通仕様

周波数	2400 - 2480 MHz	データレート	2Mbps.
チャンネル数	37	高周波出力	最大 0 dBm (アンテナ無し)
占有帯域	2MHz	感度	最大 -82dBm (アンテナ無し)
変調	FSK (DSSS)	保護構造	IEC IP67

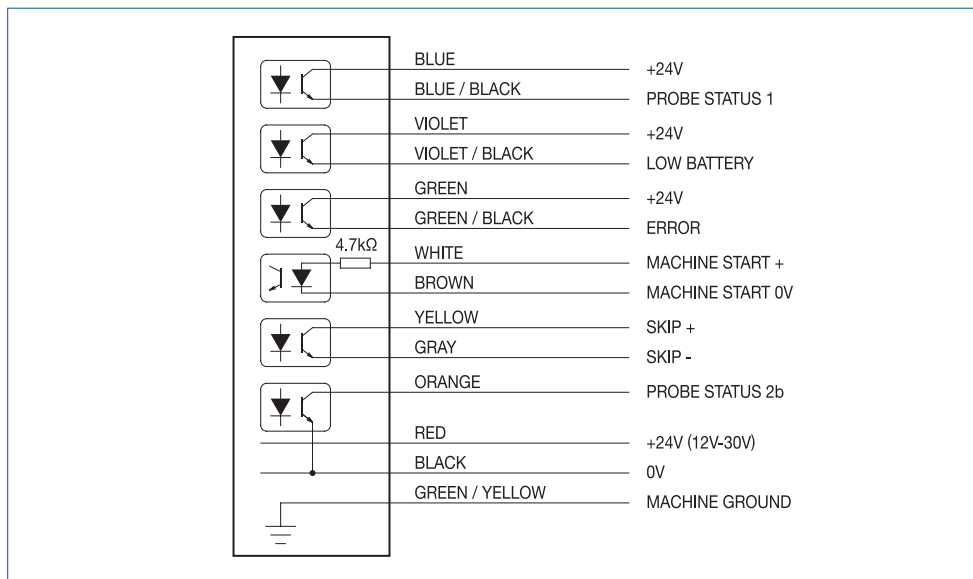
2-2 送信機仕様

通信方式	相互通信
アンテナ	チップアンテナ (内蔵基板上)
接点信号	1点 NC
表示LED	1個 (赤：送信機の信号出力)
電源	½AA型塩化チオニルリチウム電池 電池を電池ケースに入れると、電力消費が始まります。 長期に保存する場合は、電池を電池ケースから抜くことを推奨します。
重量 (シャンク除く)	電池込み：290g / 電池なし：280g
電池寿命 (計算値)	5%使用時 (72分/日)： 62日 連続使用時： 180時間

2-3 受信機仕様

通信方式	相互通信
アンテナ	¼λ ダイポールアンテナ
到達距離	最大 15m
ID 制御	受信機はマッチング後、送信機(ID番号)で排他的に通信を行います。
表示LED	4個 (青：電源、緑：通信状態、橙：電池状態、青：送信機のスキップ信号出力)
パラメータ スイッチ	8bitのディップスイッチ (内蔵基板上)
入出力	14芯 防水コネクタ付耐油性コードφ7.2 入力：電源 (DC 24V)、MACHINE START (計測開始/計測終了) 出力：スキップ信号(PROBE STATUS 2a)、PROBE STATUS 1、 PROBE STATUS 2b、LOW BATTERY、ERROR
応答速度	最短1ms (送信機ONからスキップ信号ONまで。ただし、通信状態により異なります。)
電源電圧	DC24V±10%
消費電流	最大100mA (DC24V±10%時)

2-3-1 結線図



2-3-2 LED表示

右図4個のLEDでシステムの状態を表示します。

- ・ **Power LED** : 電源の状態を表示します。

■ : 正常

● ● ● : 準備中(工作機械電源ON後、約60秒)

- ・ **Com. LED** : 送信機と受信機の動作モード及び通信状態を表示します。

OFF : スリープモード

■ : 計測モードで通信正常

● ● ● : 計測モードで通信不安定(接続チャンネル検索中)

- ・ **Batt. LED** : 送信機の電池状態を表示します。

OFF : 正常

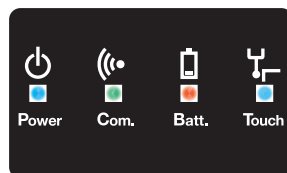
● ● ● : 残量低下(交換推奨)

■ : 残量無し ※マッチング操作時は、マッチング完了を表します。(9ページ参照)

- ・ **Touch LED** : 送信機の信号出力を表示します。

OFF : コンタクトOFF(送信機の信号出力OFF)

● : コンタクトON(送信機の信号出力ON)



3. ソフトウェア仕様

3-1 送信機

送信機には、3つの動作モードがあります。

1) スリープモード

送信機は、受信機から計測開始のMコードが発信されないかぎり、スリープ状態で消費電力を抑えています。

スリープモード中はコンタクトが対象物に接触しても、信号伝送やLEDの点灯はしません。

2) 計測モード

送信機は、受信機から計測開始のMコードを受信して計測モードに切り替わり、計測可能な状態になります。

計測終了のMコードを受信するとスリープモードに切り替わります。

3) マッチングモード

初期設定のモードです。当システムは送信機にID番号が記憶されています。

このID番号を送信機と受信機のマッチングをすることにより、受信機に読み込ませます。

受信機はID番号を記憶すると、他システムからの電波干渉を受けず、排他的に動作をします。

ID番号（送信機）を交換（修理）しない限り、この操作は不要です。

注）送信機を交換する時は、必ずマッチングを行ってください。

3-2 受信機

受信機には、3つの動作モードがあります。

1) スリープモード

受信機は、機械からの計測開始のMコードを待ちながら周囲の2400-2480MHzのISMバンド状況をサーチして、最適な通信チャンネルを割出します。

スリープモード中は、通信が正常でなくてもエラー信号を出力しません。

また、電池の状態によってBatt. LEDが点滅、点灯しますが、ローバッテリー信号は出力しません。

2) 計測モード

受信機は、機械から計測開始のMコードを受信すると計測モードに切り替り、送信機も計測モードに切り替えます。

システム全体が計測モードに切り替わると、計測信号及びエラー信号のデータ伝送を開始し、状況に合わせて信号出力及びLED表示をします。

LED	LED表示	出力信号
Power LED（青）	受信機の状態を表示（点灯：正常、点滅：準備中）	
Com. LED（緑）	通信の状態を表示（点灯：正常、点滅：不安定または異常）	ERROR
Batt. LED（橙）	電池の状態を表示（消灯：正常、点滅：残量低下、点灯：残量無し）	LOW BATTERY
Touch LED（青）	送センサの状態を表示（消灯：センサOFF、点灯：センサON）	SKIP

計測終了のMコードを受信するとスリープモードに切り替り、送信機もスリープモードに切り替えます。

3) マッチングモード

初期設定のモードです。送信機のID番号を受信機に記憶することで、他システムとの電波干渉を防ぎます。ID番号（送信機）を交換（修理）しない限り、この操作は不要です。

注）送信機を交換する時は、必ずマッチングを行ってください。

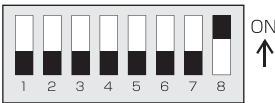
4. 送信機と受信機のマッチング

マッチングは、送信機と受信機を初めて取付ける時に行います。
取付け後は、送信機または受信機のどちらかを交換した時にのみ必要となります。
送信機と受信機が送受信可能範囲内にあればどこでも、マッチングを行うことができます。

①受信機のマッチング操作

- 1) 受信機のカバーを取り外します。
- 2) 受信機のディップスイッチ No.8 を ON にします。

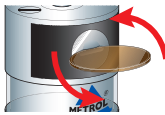
ディップスイッチ



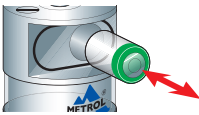
	Power. LED				点滅 / 点灯
	Com. LED				点滅
	Batt. LED				消灯
	Touch. LED				消灯

②送信機のマッチング操作

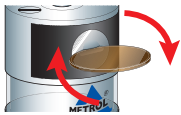
- 1) 送信機の電池カバーを外し、電池を入れます。



① マイナスドライバー、硬貨等を使用して電池カバーを外します。



② 電池を入れます。



③ 電池カバーを閉めます。

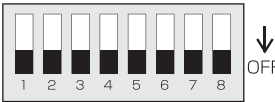
- 2) Batt. LED が点灯したら、マッチング完了です。

	Power. LED				点滅 / 点灯
	Com. LED				点滅
	Batt. LED				点灯
	Touch. LED				消灯

③マッチングモード終了の操作

- 1) 受信機のディップスイッチ No.8 を OFF にします。

ディップスイッチ

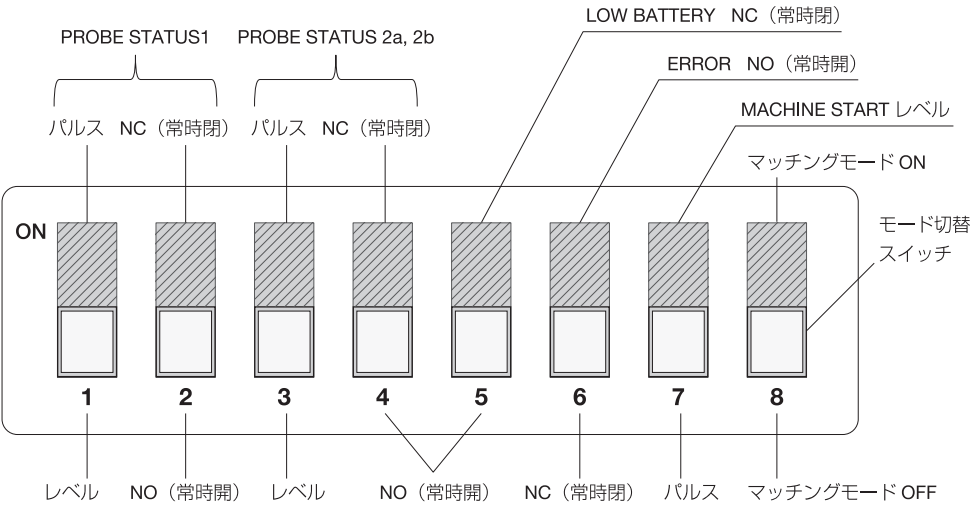


- 2) 受信機のカバーを取付けてマッチング操作終了です。

注意：マッチングは送信機の ID 番号を受信機に記録することで、他システムとの電波干渉を防ぐための操作です。送信機を交換（修理）しない限り、この操作は不要です。

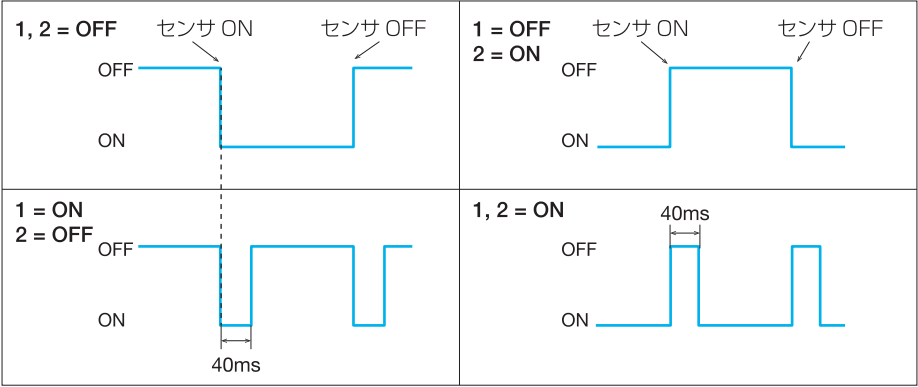
5. ディップスイッチ（パラメータスイッチ）

5-1 ディップスイッチ（パラメータスイッチ）詳細



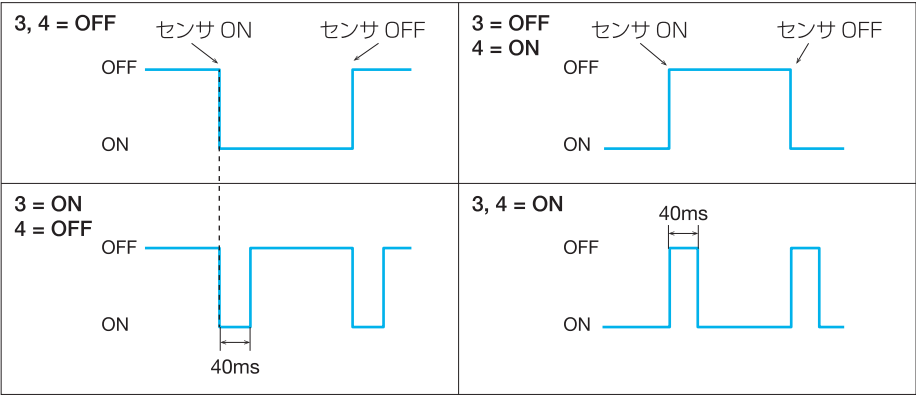
注) 波形は、計測モードでの信号出力です。

ディップスイッチNo.	ON/OFF	出力信号	概要
1	OFF	PROBE STATUS 1	レベル出力
	ON	PROBE STATUS 1	パルス出力
2	OFF	PROBE STATUS 1	NO (常時開)
	ON	PROBE STATUS 1	NC (常時閉)

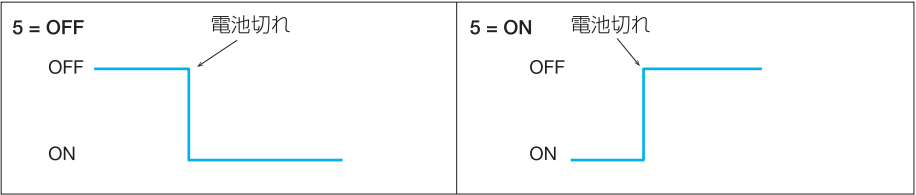


PROBE STATUS 2a = スキップ信号

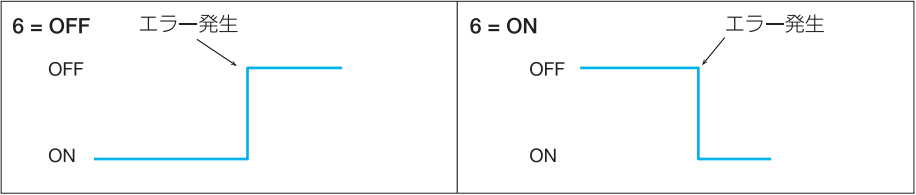
ディップスイッチNo.	ON/OFF	出力信号	概要
3	OFF	PROBE STATUS 2a, 2b	レベル出力
	ON	PROBE STATUS 2a, 2b	パルス出力
4	OFF	PROBE STATUS 2a, 2b	NO（常時開）
	ON	PROBE STATUS 2a, 2b	NC（常時閉）



ディップスイッチNo.	ON/OFF	出力信号	概要
5	OFF	LOW BATTERY	NO（常時開）
	ON	LOW BATTERY	NC（常時閉）

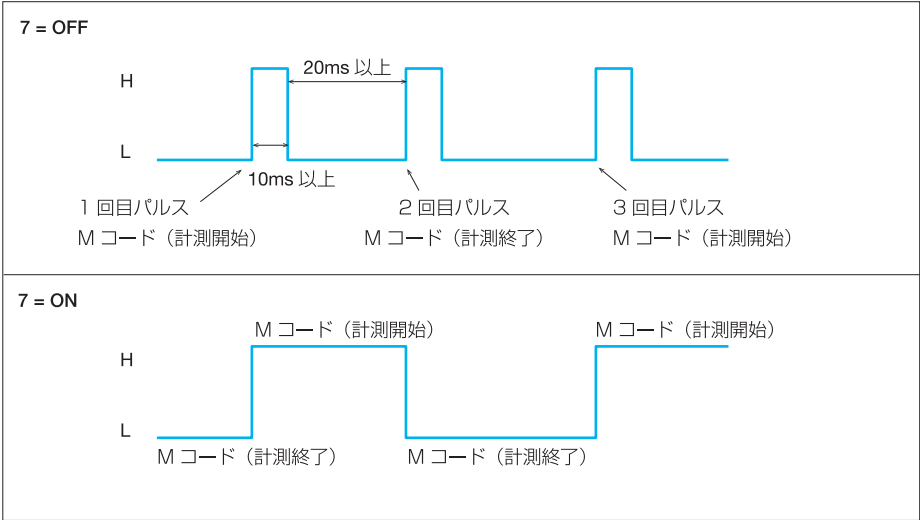


ディップスイッチNo.	ON/OFF	出力信号	概要
6	OFF	ERROR	NC（常時閉）
	ON	ERROR	NO（常時開）



5. ディップスイッチ（パラメータスイッチ）

ディップスイッチNo.	ON/OFF	出力信号	概要
7	OFF	MACHINE START	パルス入力
	ON	MACHINE START	レベル入力

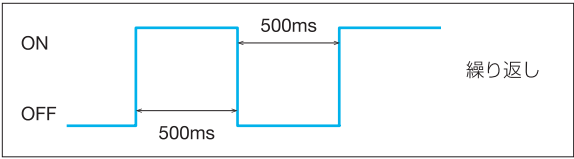


ディップスイッチNo.	ON/OFF	概要
8	OFF	通常モード
	ON	マッチングモード

注）工場出荷時は、全てのディップスイッチがOFFに設定されています。

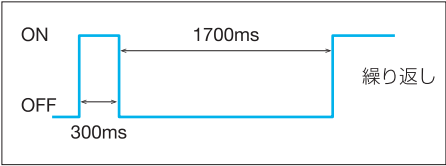
5-2 LED表示詳細

1. Power LED点滅

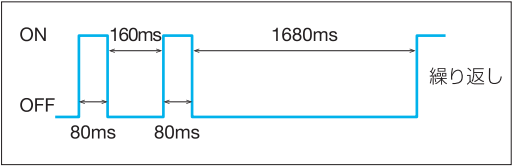


2. Com. LED点滅

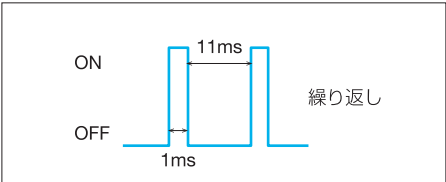
(1) 送信NG



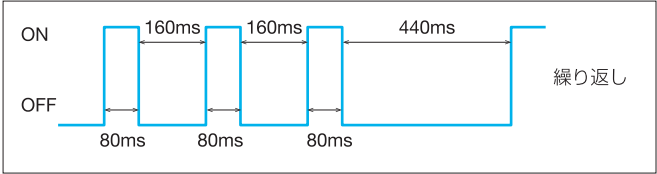
(2) 送信NG



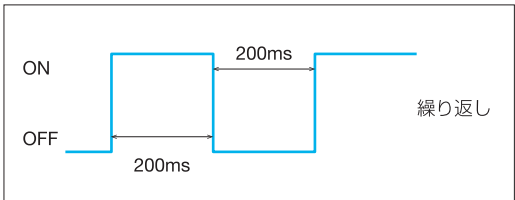
(3) 計測モードで通信不安定：初期



(4) 計測モードで通信不可：エラー信号出力



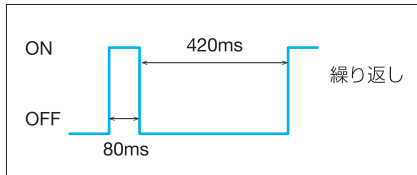
(5) 内部メモリ不具合



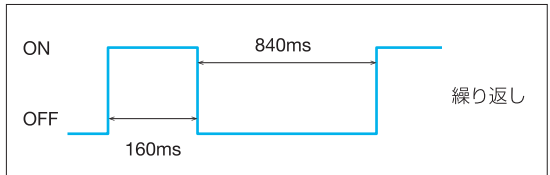
5. ディップスイッチ（パラメータスイッチ）

(6) マッチング中

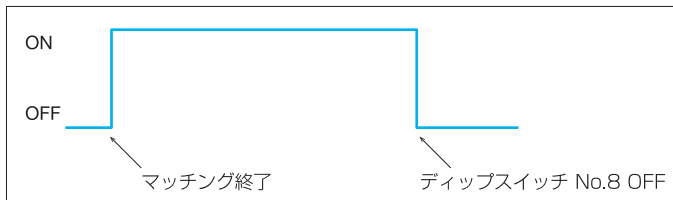
チャンネル検索中



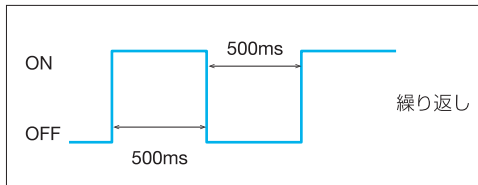
マッチング終了



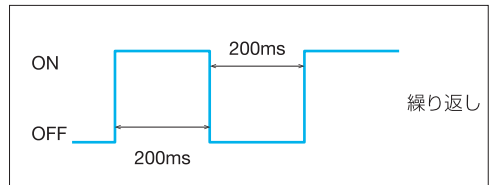
3. Batt. LED点滅



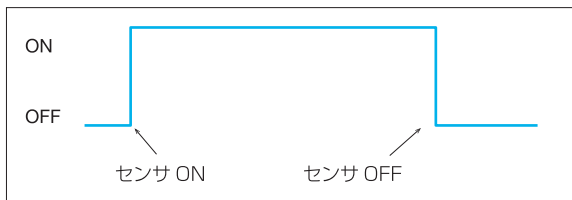
(1) マッチング中



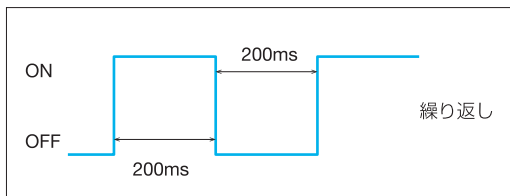
(2) 内部メモリ不具合



4. Touch LED

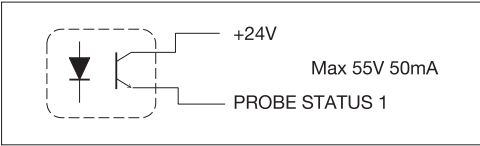


(1) 内部メモリ不具合

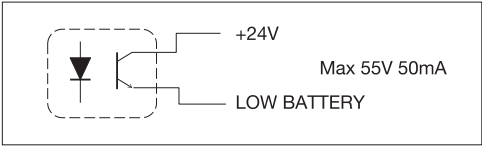


4. I/O回路

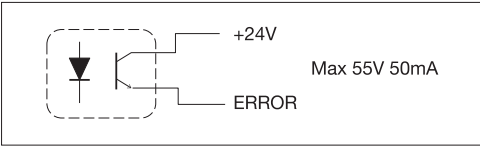
PROBE STATUS 1



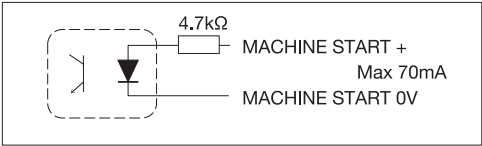
LOW BATTERY



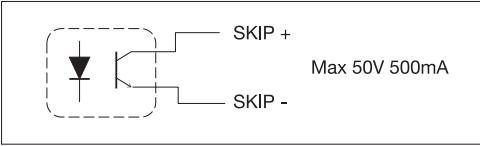
ERROR



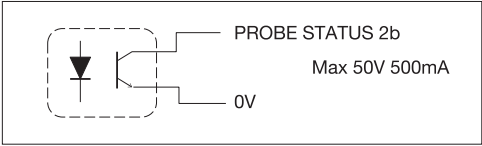
MACHINE START



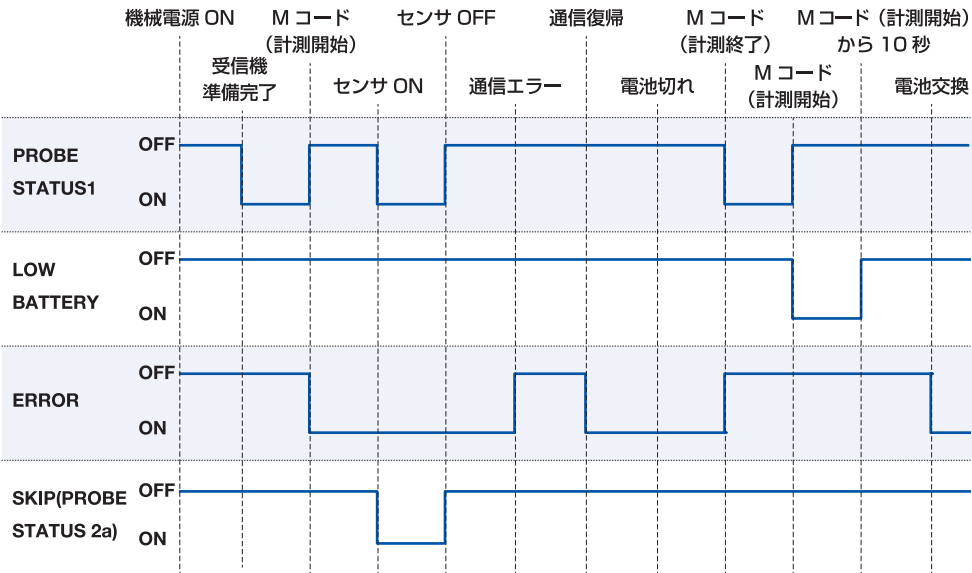
PROBE STATUS 2a (SKIP)



PROBE STATUS 2b



5. 受信機出力波形



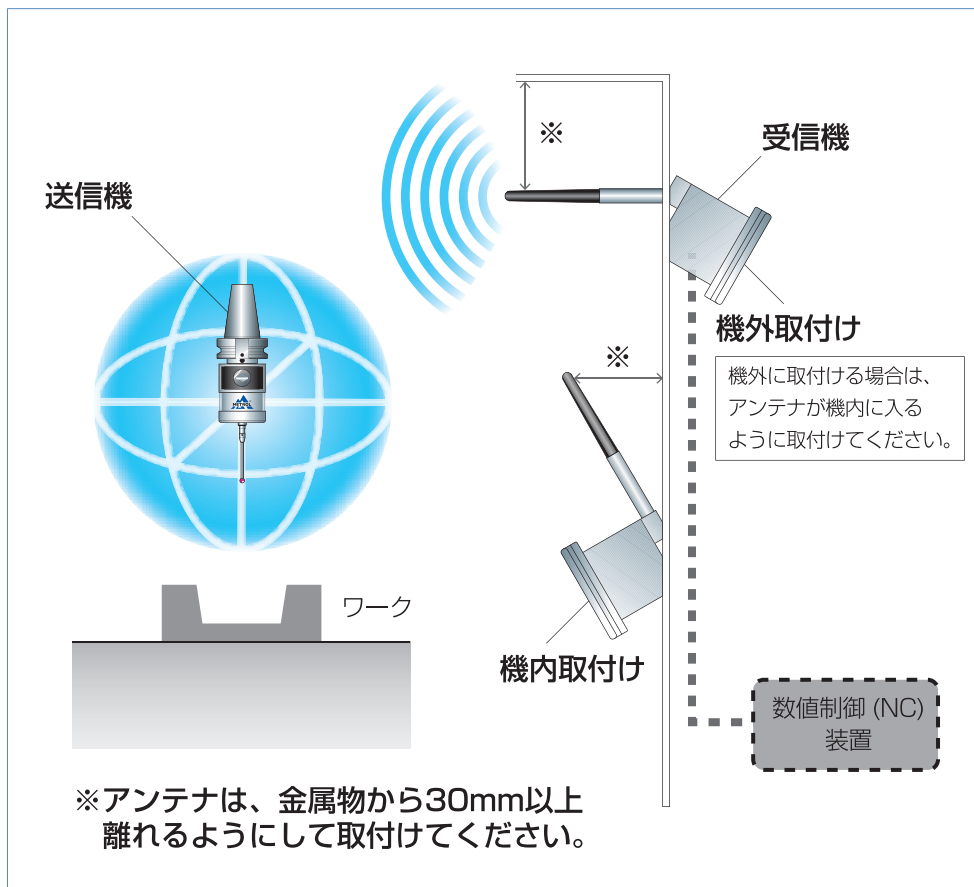
※全てのディップスイッチ（パラメータスイッチ）がOFF（出荷時設定）の時の出力波形です。

6. 送信機と受信機の送受信可能範囲

受信機は、送信機が移動する範囲内にわたって、通信状態を維持できるような位置に取付けてください。

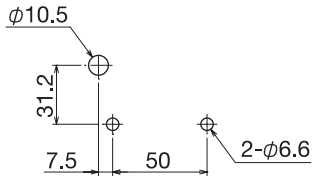
RCシリーズは、送信機と受信機との間に遮蔽物があっても、通信可能です。

受信機の最適な取付け位置は、Com. LEDの表示を目安に確認してください。

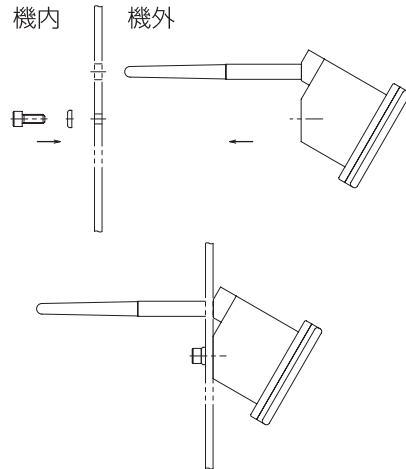


7. 受信機の取付け

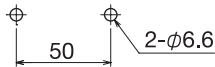
■機外取付けの場合



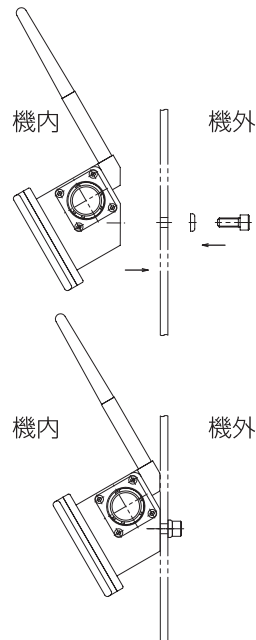
推奨取付穴加工



■機内取付けの場合



推奨取付穴加工

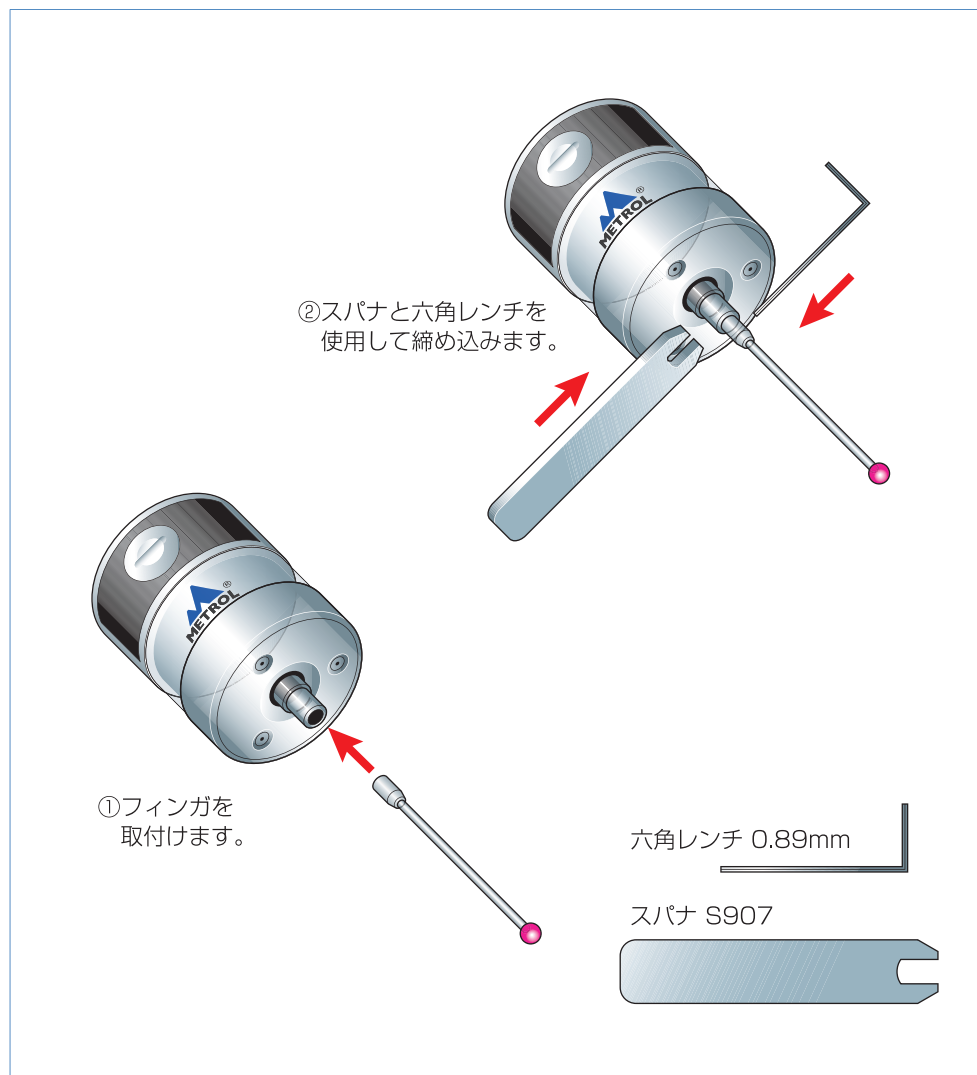


■直出コードの取付け

- ・コネクタは結合時に防水機能を有しますので、しっかり差し込み、クランプナットを締めて下さい。
- ・コードの取り回しは、電磁ノイズ発生源から充分離して行って下さい。
- ・コードを接続する際には、必ずアースも接続して下さい。

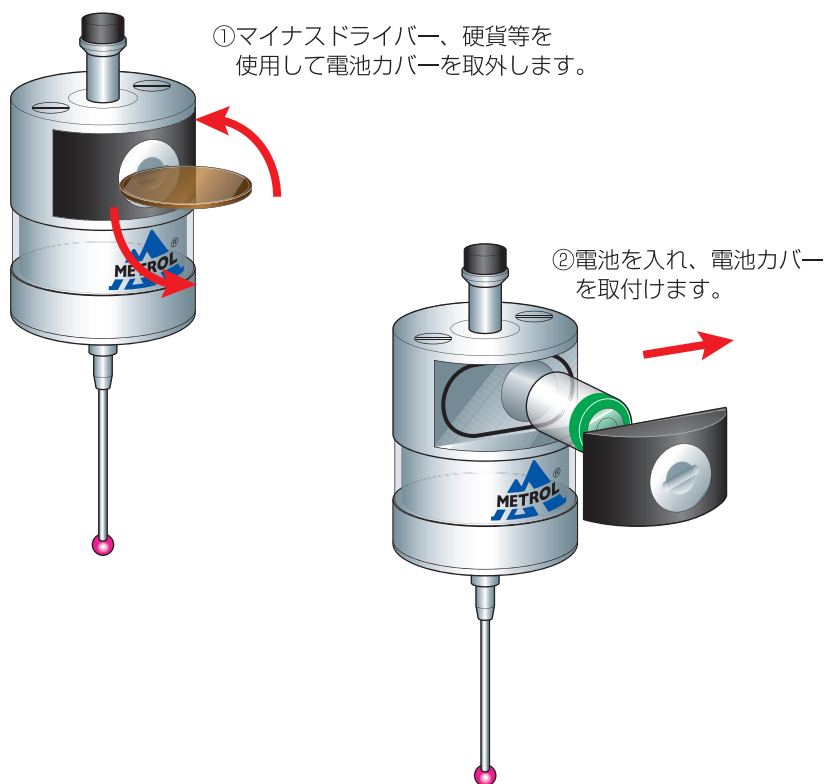
8. 送信機の取付け

8-1 フィンガの取付け (RC-K3Eの場合)



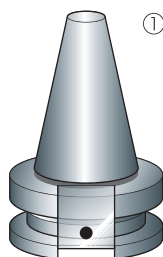
8-2 電池の取付け

- ・ 電池を取付ける際は、電極の向きを確認して下さい。
- ・ 消耗した電池を送信機に挿入した場合、正しく動作しません。
- ・ 電池ケースの中にクーラントや切粉が入らないように、注意してください。



8. 送信機の取付け

8-3 ホルダ（シャンク）の取付け

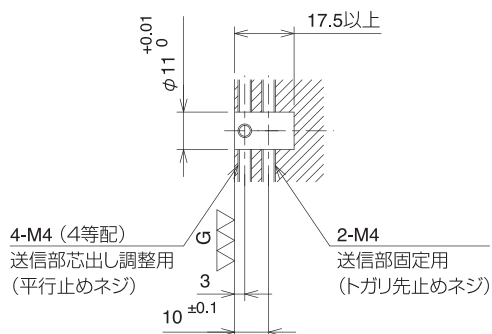


①送信機にホルダ（シャンク）を取付けます。



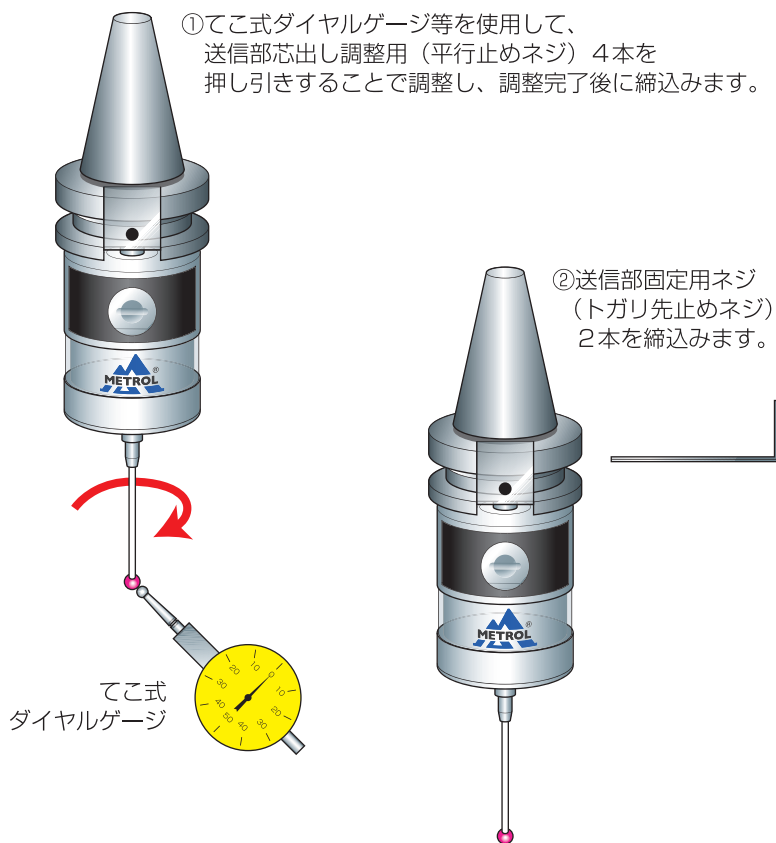
②六角レンチにて送信部固定用ネジ（トガリ先止めネジ）2本を締めます。

ホルダ（シャンク）の送信機取付部寸法



8-4 フィンガの芯出し調整（主にRC-K3Eの場合）

注意：送信機を衝突させたり、落下させたりした場合、再度確認する必要があります。
芯出し調整は、送信機やフィンガを叩いて行わないでください。

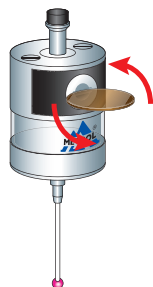


9. メンテナンス

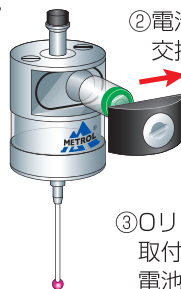
■送信機のクリーニング

送信機のガラスウィンドウをきれいな布で拭いて、切粉やクーラント等を取り除きます。
定期的にクリーニングすることで、通信状態を最良の状態に保ってください。

■電池の交換



①マイナスドライバー、
硬貨等を使用して
電池カバーを取外します。



②電池を取出して
交換します。

③Oリングがケースの溝に
取付いていることを確認し、
電池カバーを取付けます。

※電池交換時は、ケース内に水や油が
侵入しないよう、十分にご注意ください。

注意

- ・電池を交換する際は、電極の向きを確認してください。
- ・消耗した電池を送信機に挿入した場合、正しく動作しません。
- ・送信機に消耗した電池を入れたままにしないでください。
- ・電池カバー用シール（Oリング）が外れていないことを確認し、損傷を与えないように注意してください。
- ・電池ケースの中にクーラントや切粉が入らないように注意して下さい。
- ・電池カバーを取付ける前に、シール（Oリング）及びその接触面に傷やゴミが付着していないことを確認してください。
- ・電池の安全使用についての詳細は、3ページを参照ください。
- ・古い電池を取り出した後、15 秒以上待ってから新しい電池を挿入してください。

10. トラブルシューティング

トラブル内容	考えられる要因	対処方法
送信機の電源が入らない。	電池の消耗。	電池を交換してください。
	推奨品以外の電池を使用している。	電池を交換してください。
	電池の装着方向が間違っている。	電池の装着方向/電極の向きを確認してください。
	電池を取外していた時間が短く、送信機がリセットされていない。	15秒以上電池を取外してください。
送信機が計測プログラムを実行しても動作しない。	送信機が計測モードに切り替っていない。	制御装置のMコード(電源ON信号)出力がパルス/レベルのどちらかを確認してください。 受信機は出荷時にパルス入力に設定されています。レベル出力の場合は、受信機のディップスイッチNo.7をONにして、レベル入力に設定してください。
	送信機が計測モードに切り替る前に計測プログラムが開始している。	Mコード(電源ON信号)後にドゥエルを入れてください。 (Mコードを受けて計測モードに切り替るまで、最長1秒を要します。通信環境によっては3秒程度を要することがあります。)
	送信機が電源OFFのままになっている。	送信機が送受信可能範囲内にあることを確認し、Mコード(電源ON信号)を再送してください。
	送信機と受信機が送受信可能範囲外にある。	送信機と受信機の位置関係を確認してください。(17ページ参照)
	電池が消耗している。	電池を交換してください。
計測プログラム実行中に予期せぬ位置で機械が停止する。	無線通信不良または送信機が送受信可能範囲外にある。	障害物を取り除き、受信機の位置を確認してください。
	制御装置本体の不具合。	制御装置の取扱説明書を参照してください。
	電池が消耗している。	電池を交換してください。
	送信機が対象物を検出できない。	ワークが正しく設置および固定されているか、センサが破損していないかを確認してください。
	急激な加減速による誤動作(誤検出)。	計測プログラムを再検討してください。
送信機の衝突。	送信機の移動経路上に対象物がある。	計測プログラムを再検討してください。

トラブル内容	考えられる要因	対処方法
計測精度不良 または 繰返し精度不良。	対象物またはセンサのコンタクトに異物付着。	付着している異物を取り除いてください。
	送信機とホルダの結合および固定が不十分、またはコンタクトの緩み。	該当箇所を確認し、固定部を締直してください。
	センサ着脱または交換の繰返し精度不良。(ATCなどでご使用の場合)	センサ装着毎にキャリブレーションしてください。
	キャリブレーション値が更新されていない、または補正量が正しくない。	計測プログラムを再検討してください。
	キャリブレーション時と計測プログラム実行時の操作速度が異なる。	計測プログラムを再検討してください。
	対象物に接触する前にセンサON信号が出力される(加減速による信号出力)	計測プログラムを再検討してください。
	制御装置本体の不具合。	制御装置本体の精度検査を行ってください。
計測プログラム実行中に受信機のCom.LEDが点滅する。	送信機と受信機が送受信可能範囲外にある。	送信機と受信機の位置関係を確認してください。 (17ページ参照)
受信機のBatt.LEDが点滅または点灯する。	電池が消耗している。	電池を交換してください。
送受信可能範囲が狭い。	ほかの無線機器による電波干渉。	障害物を取り除いてください。
加工中にLEDが点灯する。 (送信機の電源が切れない。)	受信機からMコード(電源OFF信号)が発信されていない。	計測プログラムのMコード(電源OFF信号)を確認してください。
制御装置の電源投入後、5分以上経過してもCom.LEDが点滅している。	送信機と受信機が送受信可能範囲外にある。	送信機と受信機の位置関係を確認してください。(17ページ参照)
	受信機の不具合。	お問い合わせください。

仕様・価格などの記載事項は製品改良のため、お断りなく変更することがありますのでご了承下さい。

製造元



精密位置決めスイッチはメトロール

Metrol

株式会社メトロール 〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地

TEL. 042-527-3278 (代) / FAX. 042-528-1442

E-MAIL. sales1@metrol.co.jp

GM-RC-K003